

竜巻注意情報

竜巻とは、積乱雲に伴って発生する強い空気の渦巻きのことです。日本で起こるほとんどの竜巻は、地上近くで風が回転しているところに、上昇気流が重なって発生すると考えられています。発達した積乱雲や台風付近では強い上昇気流が現れることから、7月から11月にかけて竜巻の発生する確率が高くなります。

2006年11月7日に北海道常呂郡佐呂間町で発生した竜巻は、日本で発生した竜巻による人的被害としては過去最大で、残念ながら9名の方が犠牲となりました。ほかにも、負傷者31名、住宅の全壊7棟、半壊7棟といった被害をもたらしています。

このような恐ろしい災害から身を守るため、気象庁は竜巻発生の可能性に応じて次のように段階的な情報発表を行っています。

- 半日から1日前には、「気象情報」の中で「竜巻など激しい突風のおそれ」と明記
- 数時間前には、「雷注意報」の内容に「竜巻」を明記
- 0～1時間前には、今まさに竜巻の発生しやすい気象状況となっていることをお知らせする「竜巻注意情報」を発表

竜巻注意情報はテレビのテロップや、ラジオ、スマートフォン用防災アプリ、自治体のメールサービス等から入手できます。竜巻注意情報が発表された際は、空の様子に注意し、「雷の音が聞こえる」「急に冷たい風が吹く」など積乱雲が近づく兆しを感じた場合には、丈夫な建物の中に避難し窓から離れるなど、直ちに身の安全を確保してください。

また、竜巻注意情報発表中には、竜巻が発生する可能性の高い場所が地図上でわかる「竜巻発生確度ナウキャスト」を気象庁ホームページ上に掲載しますのでご活用ください。

問い合わせ先 網走地方気象台
(電話：0152-43-4349)



網走地方気象台ホームページ



気象庁ホームページ
「急な大雨や雷・竜巻から身を守るために」

- 竜巻が発生する兆し① -

竜巻をもたらすような積乱雲の接近

低く黒い雲（積乱雲）が接近する	雷鳴や雷光が見える	急に冷たい風が吹く

- 竜巻が発生する兆し② -

竜巻をもたらすような積乱雲による現象

窓や壁に打ち付けるような強い雨や風	ひょうの落下
竜巻が発生する兆し(気象庁ホームページより)	